

商工部新産業・技術振興課
(福岡水素エネルギー戦略会議事務局)
内線：3735, 3736
直通：643-3448
担当：水素班 平野、杉本

全国初の水素関連製品開発支援機関

『水素エネルギー製品研究試験センター』開所！

～水素エネルギー・新産業の育成・集積の中核拠点 いよいよ始動～

- 福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議 ※₁では、①九州大学を中核とした世界最先端の研究開発、②「福岡水素タウン」※₂や「水素ハイウェイ」※₃、「北九州水素タウン」※₄の先導的な社会実証、③全国唯一の水素人材育成、④水素エネルギー新産業の育成・集積、⑤世界最先端の水素情報拠点の構築を柱とした「福岡水素戦略（Hy-Lifeプロジェクト）」を展開しています。
- 水素エネルギー産業を育成するには、高圧水素ガス環境下で使うバルブやセンサなどの各種関連製品の低コスト化、高性能化を図ることが重要です。また、企業が水素エネルギー分野に新規参入するためには、高圧水素ガスを用いて製品試験を行い、自社製品の性能、信頼性を証明することが不可欠です。
- このたび、水素エネルギー新産業の育成・集積を図る中核拠点として、産業界待望の水素関連製品の開発を支援する全国で初の施設となる『水素エネルギー製品研究試験センター（HyTReC）^{ハイトレック}』が開所します。4月28日（水）、橘高九州経済産業局長、松本糸島市長を迎え、開所式及び内覧会を行います。
- センターは、1,000気圧級の高圧水素を取り扱う高圧水素試験室、超高圧の水圧を使った破裂・耐久試験室、振動試験室など12の独立した試験室のほか、試験治具を加工する工作室、試験後の製品の状態を評価する分析室等の充実した設備を備え、これまで国内での実施が困難であった高圧水素ガスを使った製品試験を行います。
- これまでは、高圧水素ガスによる製品試験は、高額な初期投資を必要とするため、一部の大手企業が試験装置を自社で導入する以外は、海外への試験発注が一般的でした。このセンターの開所により、費用面だけでなく技術情報漏洩の面からも中小・ベンチャー企業にとっては、水素エネルギー分野への参入が容易になり、水素エネルギー研究及び製品開発の進展が期待できます。
- 県・戦略会議は、同センターをはじめ、九州大学や産業技術総合研究所水素材料先端科学研究センターと連携し、水素エネルギーの開発促進、水素エネルギー新産業の育成・集積を通じて、世界に先駆けて水素エネルギー社会を実現していきます。

※ 1 : 福岡水素エネルギー戦略会議

水素の製造、輸送・貯蔵から利用までの一貫した研究開発や社会実証、全国唯一の人材育成などに取り組む全国最大の産学官連携組織（2004年8月発足）。

2010年3月末現在、580企業・機関が会員として参加。

会長は、新日本製鐵株式会社 黒木啓介（くろき けいすけ）代表取締役副社長

※ 2 : 福岡水素タウン

水素家庭用燃料電池を集中的に設置する世界最大の「水素タウン」。

新日本石油株式会社、西部ガスエネルギー株式会社と共同で、糸島市の南風台（みなかぜだい）団地・美咲が丘（みさきがおか）団地の150世帯を対象にLPガスを燃料とする水素家庭用燃料電池を設置。約7年間にわたり、省エネ効果などを検証する。

水素家庭用燃料電池を100世帯超の規模で集中設置するのは世界初の取り組み。

※ 3 : 水素ハイウェイ

福岡～北九州間において、次世代自動車として期待される水素燃料電池電気自動車・水素エンジン車の実証走行を可能とするため、「九州大学水素ステーション（福岡市西区元岡，九州大学伊都キャンパス内）」「北九州水素ステーション（北九州市八幡東区東田）」を整備。

「水素・燃料電池実証プロジェクト（JHFCプロジェクト）」と連携して、水素供給並びに普及啓発活動を実施。

国等と連携して、将来的には、東京への延伸を目指す。

※ 4 : 北九州水素タウン

北九州水素ステーションを核に、副生水素を本格利用する世界初の次世代型水素エネルギーモデル都市。

- ・都市ガスの代替燃料として、副生水素を地域にパイプライン供給。
- ・純水素型の定置用燃料電池を一般住宅等で利用する他、FCフォークリフト、FC自転車などの小型移動体を実証。

水素供給・利用技術研究組合が実施する経済産業省補助事業「水素利用社会システム構築実証事業」と連携

※ 5 : 公益財団法人 水素エネルギー製品研究試験センター

水素エネルギーの開発促進、水素エネルギー新産業の育成・集積を図る中核機関として、2009年3月6日設立。

所在地 福岡県糸島市富915-1

基本財産 150百万円（福岡県150百万円）

主な役員 理事長（センター長） 渡邊正五（わたなべ しょうご）
元(財)日本自動車研究所 FC・EVセンター長
理事（副センター長） 菊川重紀（きくかわ しげき）

事業内容 試作品等に関する製品試験
製品試験方法の開発
水素関連製品の開発
セミナー・広報活動

『水素エネルギー製品研究試験センター ^{ハイトレック} (HyTReC)』
 (Hydrogen Energy Test and Research Center)

建設地	糸島市富915-1 (糸島リサーチパーク)	占有面積約 5,300 m ²
施設	試験棟〔RC造平屋建〕 高圧水素試験室(5室), 低圧水素試験室(4室), 振動試験室(1室), 水加圧試験室(1室)、破裂・耐久試験室(1室) 計12室 分析室、工作室、集中監視室	延床面積約 2,000 m ²
	事務棟〔RS造2階建〕 事務室、セミナー室等	総工費 約 14 億円
試験設備	燃料電池自動車、水素ステーション等に用いられる複合容器、弁、バルブ、継手、センサなどを対象として耐久性試験、圧力サイクル試験、破裂試験等を実施する設備	

○ 開所式

日時：平成22年4月28日(水) 11:00～11:40

場所：糸島市富915-1 (糸島リサーチパーク)

主催：公益財団法人 水素エネルギー製品研究試験センター (HyTReC)

次第 ・ 開 会

・ 挨拶 主催者挨拶 HyTReC 渡邊正五 理事長
 知事挨拶 福岡県 麻生 渡 知事
 来賓挨拶 経済産業省 橘高 公久 九州経済産業局長
 糸島市 松本 嶺男 市長
 福岡水素エネルギー戦略会議
 村上 敬宜 ^{ゆきたか} 副会長

- ・ 来賓紹介
- ・ 祝電紹介
- ・ テープカット
- ・ 閉 会

○ 内覧会

- ・ センター概要説明
- ・ 施設見学

福岡水素エネルギー戦略会議

Fukuoka Strategy Conference for Hydrogen Energy

福岡水素戦略

～Hy-Life プロジェクト～

福岡水素戦略の推進組織

Promotion Organization of Fukuoka Hydrogen Strategy

福岡水素エネルギー戦略会議

設立 平成16年8月3日
顧問 麻生 渡 (福岡県知事)
有川節夫 (国立大学法人九州大学総長)
北橋健治 (北九州市長)
橋高公久 (九州経済産業局長)
羽矢 惇 (新日鉄エンジニアリング株式会社 代表取締役社長)
吉田 宏 (福岡市長)
会長 黒木啓介 (新日本製鐵株式会社 代表取締役副社長)
副会長 上羽尚登 (岩谷産業株式会社 専務取締役)
松村幾敏 (新日本石油株式会社 代表取締役副社長執行役員)
村上敬宜 (九州大学 理事・副学長)
渡邊浩之 (トヨタ自動車株式会社 技監)
幹事会 会員中核企業などで組織
事務局 福岡県商工部新産業・技術振興課



福岡水素戦略の全体概要

Whole of Fukuoka hydrogen strategy outline



福岡水素戦略 (Hy-Life プロジェクト) に協働いただける企業・機関等を求めています!

問い合わせ先

福岡水素エネルギー戦略会議事務局 (福岡県商工部新産業・技術振興課)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

TEL : 092-643-3448 ・ FAX : 092-643-3436

E-mail : info@f-suiso.jp URL : http://www.f-suiso.jp

福岡水素エネルギー戦略会議

Fukuoka Strategy Conference for Hydrogen Energy

福岡水素戦略

～Hy-Life プロジェクト～

はじまります。
水素エネルギーを利用した新生活。

〈九州大学伊都キャンパス〉
(福岡市西区元岡)



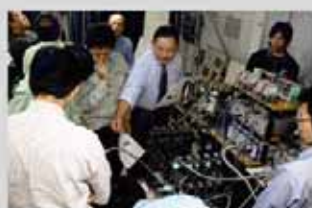
九州大学水素ステーション



産業技術総合研究所
水素材料先端科学研究センター (HYDROGENIUS)



九州大学水素エネルギー
国際研究センター



福岡水素エネルギー
人材育成センター

〈北九州地区〉



北九州水素ステーション
(北九州市八幡東区東田)

【実証走行中の水素自動車】



トヨタFCHV-adv
(北九州市役所)



マダカメジャー/ドジョーンRE/ブリッド
(岩谷産業(株)、(株)安川電機)

北九州水素タウン 平成21年度開始

〈福岡地区〉



知事公舎での
家庭用燃料電池実証



トヨタFCHV-adv
(福岡県庁)

〈糸島地区〉



水素タウンの整備
(糸島市南風台・美咲が丘)



水素エネルギー製品研究
試験センター (HyTReC)
(糸島市富)



福岡水素戦略 (Hy-Life プロジェクト) に協働いただける企業・機関等を求めています!

問い合わせ先

福岡水素エネルギー戦略会議事務局 (福岡県商工部新産業・技術振興課)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

TEL: 092-643-3448 • FAX: 092-643-3436

E-mail: info@f-suiso.jp URL: http://www.f-suiso.jp

中小・ベンチャー企業の水素関連製品研究開発支援機関

HyTReC 水素エネルギー製品研究試験センター

Hydrogen Energy Test and Research Center (HyTReC)

【所在地】福岡県糸島市富915-1
(糸島リサーチパーク)
福岡空港から25分、天神・博多駅から20分
【延床面積】約2,000m²
【敷地面積】約5,300m²
【主要施設】水素高圧試験室 (100MPa級)
水素低圧加湿・振動試験室
水加圧試験室 (破裂・耐久) (外水圧)
水素低圧加湿試験室
セミナー室



水素エネルギー製品研究試験センターは、福岡水素戦略 (Hy-Life プロジェクト) に掲げる「水素エネルギー新産業の育成・集積」を推進するため、福岡県が中心となって平成21年3月に設立した財団法人です。水素ガス環境下で使用する「バルブ」「センサ」など水素関連製品の耐久性試験、圧力サイクル試験や共同研究開発を通して、中小・ベンチャー企業の水素エネルギー新産業への参入を支援します。

提供するサービス・事業

九州大学、産総研・水素材料先端科学研究センター (HYDROGENIUS) の最新研究成果を活用して、次の製品試験を行います。

- (1) 試作品等に関する製品試験
水素関連製品や材料について耐久性試験、性能試験、振動試験、気密試験、圧力サイクル試験、ガス透過試験、材料評価試験等を行います。
- (2) 製品試験方法の開発
国や民間企業からの委託を受け水素関連製品の試験方法を開発します。
- (3) 水素関連製品の開発
民間企業とバルブ、継手等の小物製品や材料の共同研究開発を行います。
- (4) セミナー・広報活動
水素エネルギーに関する最新技術セミナーや安全講習等を開催します。



中小・ベンチャー企業の
水素関連機器の研究開発を支援します。

水素エネルギー製品研究試験センター (HyTReC)

設立/平成21年3月6日
理事長/渡邊 正五 (兼センター長)

水素エネルギー新産業の育成・集積のためには、多様な企業の参入促進・競争環境の創出により、各種関連製品の低コスト化・高性能化を図ることが必要です。また、民間企業が水素エネルギー新産業へ新規参入するためには、水素ガス環境下での製品試験により、自社製品の性能・信頼性を証明することが必要不可欠です。しかし、水素ガス環境下における製品試験には高額な初期投資が必要であることから、特に中小・ベンチャー企業が水素エネルギー新産業へ新規参入する際の大きな阻害要因となっています。

このような課題を解決し、水素エネルギー新産業の育成・集積を推進するため、本センターでは、九州大学及び産総研水素材料先端科学研究センターの世界最先端の研究成果を基に、今まで国内で実施できなかった水素関連製品 (素材・部品等) の研究試験を行い、産業界の製品開発を支援していきます。

多くの企業の皆様に、本センターが提供する効率的な製品開発の環境を活用していただき、日本における水素エネルギー新産業の育成に貢献できれば幸いです。



センター長 渡邊 正五

お問い合わせ

公益財団法人 水素エネルギー製品研究試験センター

〒819-1133 福岡県糸島市富915-1
TEL: 092-321-2911 FAX: 092-321-2921
E-Mail: info@hytrec.jp URL: http://www.hytrec.jp/